

令和2年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について(概要)

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

(保護者アンケート)
区立学校に通う全児童・生徒の保護者

(児童・生徒アンケート)
区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】

- (保護者アンケート)
- 〔A〕 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について
 - 〔B〕 学校と地域との連携・協働について
 - 〔C〕 ICT教育について
 - 〔D〕 品川区の教育施策について

- (児童・生徒アンケート)
- 〔A〕 学校や家での様子について
 - 〔B〕 英語の学習について
 - 〔C〕 オリンピック・パラリンピックについて
 - 〔D〕 コンピュータやタブレットなどの活用について

【調査期間】

令和3年1月21日(木)から2月1日(月)まで

【調査方法】

質問紙調査(無記名)

【配布数および回答率等】

(保護者アンケート)
配布数 21,550
回答数 20,123(内有効数 20,123)
回答率 93.4%

(児童・生徒アンケート)
配布数 18,470
回答数 17,407(内有効数 17,406)
回答率 94.2%

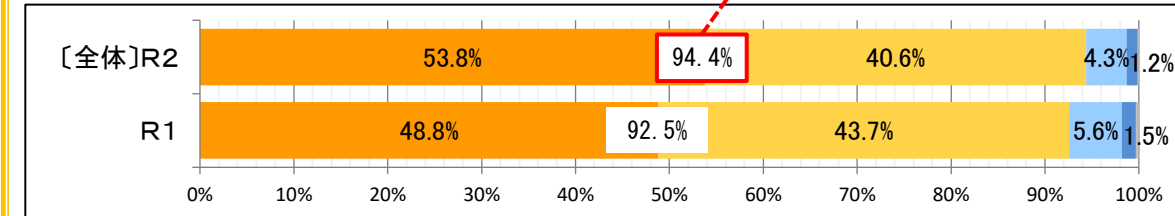
グラフの凡例: ■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

保護者アンケート

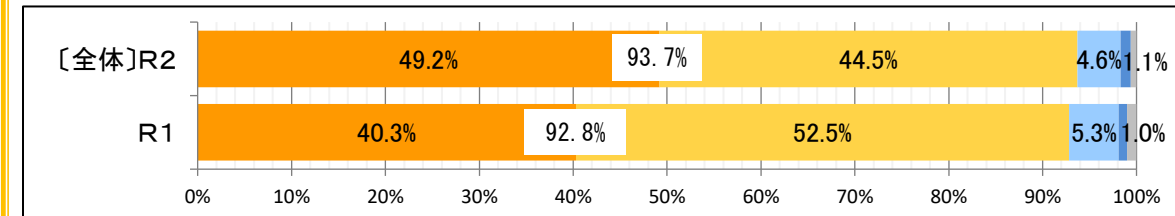
D 品川区の教育施策について

保護者による学校満足度
94.4%

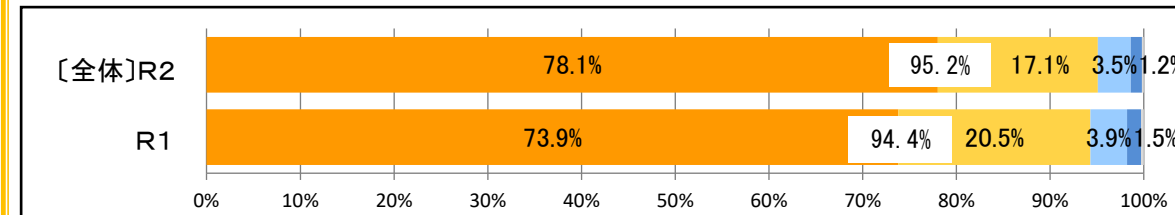
[11] 現在通っている学校に満足している。



[8] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



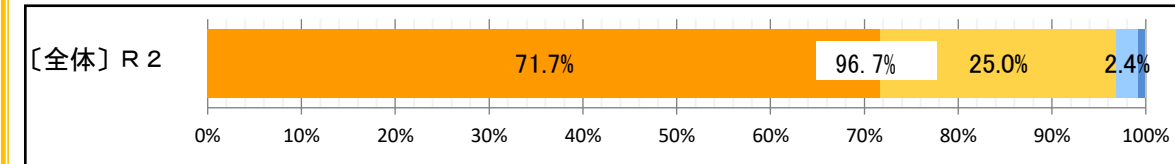
[9] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



保護者による学校満足度については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より5.0ポイント上がっている。
独自教科である市民科については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より8.9ポイント上がっている。
1年生からの英語学習については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より4.2ポイント上がっている。

C ICT教育について

[7] お子様はコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。

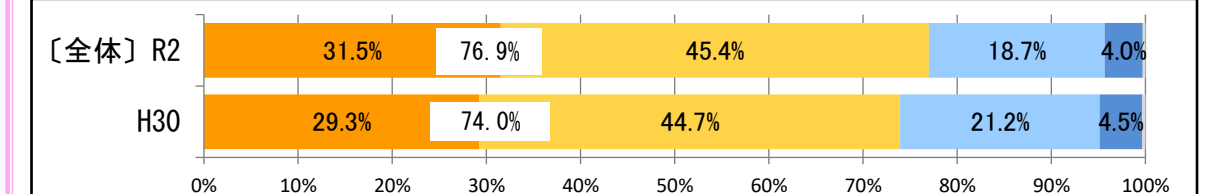


ICT機器を活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることについて、重要だと思うという肯定的な回答をした家庭は、全体で95%を超えている。

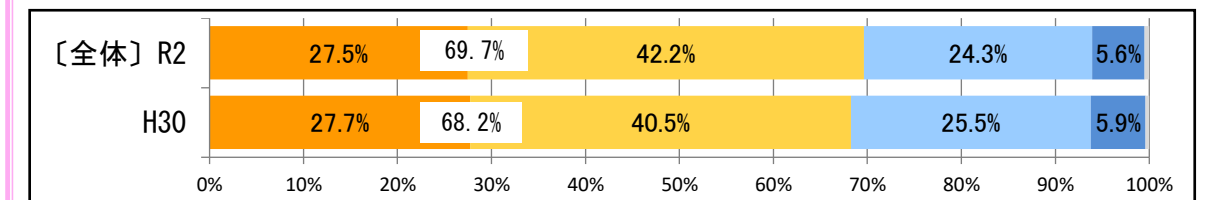
児童・生徒アンケート

A 学校や家での様子について

[2] 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。

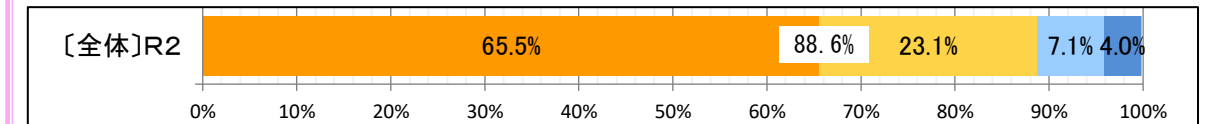


[3] 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



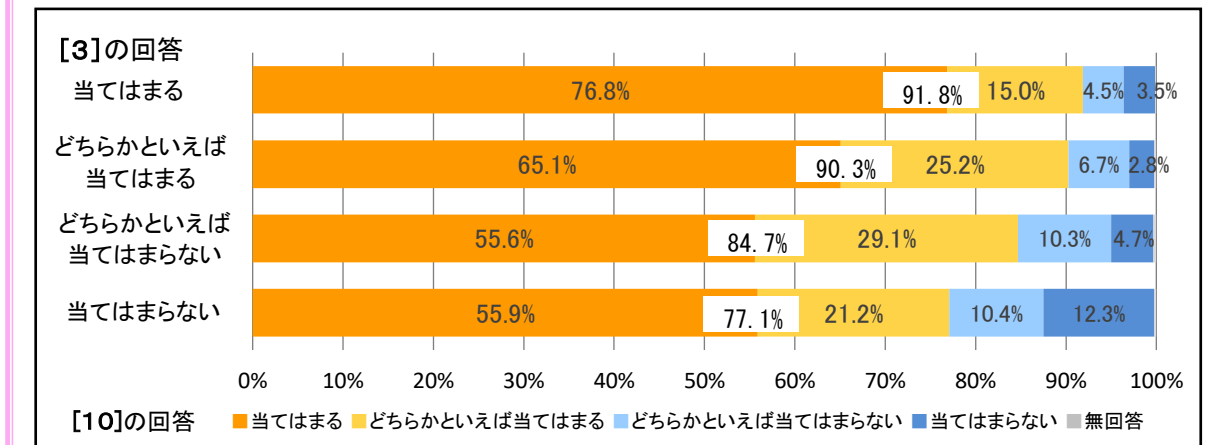
D コンピュータやタブレットなどの活用について

[10] 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。



授業でのコンピュータやタブレットなどの活用について、85%以上が肯定的な回答をしている。そのうち「当てはまる」は65.5%と半数を超えている。

[3][10] 授業でのICT機器の活用への意欲と、行事の企画・運営への積極的な参加、自分の考えを発信することとの関連



授業でもっとICT機器を活用したいと思うかを企画・表現(行事の企画・運営への積極的な参加等)別にみると、授業でもっとICT機器を活用したいと思うという肯定的な回答は、企画・表現に「当てはまる」で91.8%、「どちらかといふと当てはまる」で90.3%と9割を超え、企画・表現に対して否定的な回答をした児童・生徒に比べ、高い傾向が見られた。